



D10-0000019837 2.5 版

QX-PS800

ユーザーズマニュアル

改版履歴

版数	日付	改版内容
1.0	2009/08/28	・ 初版発行
1.1	2010/12/15	・ 誤記訂正
1.2	2011/08/04	・ サポート装置（QX-S5200シリーズ）の追加
1.3	2012/07/23	・ 無給電時の消費電力を追記 ・ 誤記訂正
1.4	2014/07	・ 廃棄方法についてのホームページURLを変更 ・ 誤記訂正
2.0	2015/08	・ QX-PS800-T2サポートに伴う変更 ・ サポート装置の追加 QX-S3828TP、QX-S3852TP QX-S5524GT-4X2Q、QX-S5548GT-4X2Q ・ AC電源ケーブル長を追記 ・ 誤記訂正
2.1	2015/12/24	・ 「安全のご注意」の「電源に関するご注意」の「警告」のAC100Vの電源に関する記述を誤記訂正 ・ 「1章 製品の概要」の製品仕様の寸法を誤記訂正 ・ 「3章 設置」の「電源ケーブルの接続」にAC200Vの電源ケーブルに関する注意を追加
2.2	2016/09/15	・ 安全上のご注意の「情報処理装置等電波障害自主規制について」の記述を修正 「本装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には、使用者は適切な対策を講ずるよう要求されることがあります」から「この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります」 ・ 誤記訂正
2.3	2016/10/31	・ 安全上のご注意の「情報処理装置等電波障害自主規制について」のタイトルを修正 「情報処理装置等電波障害について」から「情報処理装置等電波障害自主規制について」 ・ 「1章 製品の概要」のDC出力電源LEDの状態、説明を変更 ・ 誤記訂正（用語統一）

QX-PS800 ユーザーズマニュアル

2.4	2018/10/25	<ul style="list-style-type: none">・ サポート装置の追加 QX-S5628GT-4X2Q、QX-S5648GT-4X2Q・ 商標の記述を変更
2.5	2020/07/31	「1章 製品概要」にメモを追加しました。

Copyright © NEC Corporation 2009-2020

All Rights Reserved

事前に NEC の書面による許可なく、本マニュアルをいかなる形式または方法で複製または配布することを禁止します。

商標

本マニュアルに記載されているその他の商標は、各社が保有します。

注意

本マニュアルの内容は、予告なく変更されることがあります。本マニュアルの作成にあたっては、その内容の正確さを期していますが、本マニュアルのすべての記述、情報、および推奨事項は、明示的か暗黙的にかかわらず、いかなる種類の保証の対象になりません。

本マニュアルは以下に示す章および付録で構成されています。

序

本製品について

安全上のご注意

1 章 製品概要

2 章 設置前の準備

3 章 設置

4 章 メンテナンスおよびトラブルシューティング

本マニュアルでは、以下のような記号も使用して、操作中に特に注意すべき点を強調しています。意味は次のとおりです。



注意、警告、危険：操作中に特に注意すべきことを表します。



メモ、コメント、ヒント、ノウハウ、アイデア：補助的な説明を表します。

序

このたびは QX シリーズをお買い上げ頂きありがとうございます。

ご使用前に本マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

お読みになった後は、いつでもご覧になれる場所に必ず保管してください。

なお、本マニュアルでは、パソコンおよびネットワークについての基本的な操作や設定ができる方を対象に説明しています。パソコンの操作や一般的なネットワークの設定については、お使いの製品の説明書や市販の書籍などをご覧ください。

| | |-----| | ご注意 | |-----|

- (1) 本マニュアルに含まれる情報は、当社（日本電気株式会社）の所有するものです。当社の同意なしに、全体または一部をコピーまたは転載しないでください。
- (2) 当社は、予告なしに本マニュアルの全体または一部を修正・改訂することがあります。また改良のため製品の使用を予告なく変更することがあります。
- (3) 本マニュアルの内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきのことがありましたら、ご一報くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果については、上項に関わらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- (5) 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

本製品について

■ 輸出に関する注意事項

本製品は日本国内仕様であり、外国の規制等には準拠しておりません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。

また、当社は本製品に関し海外での保守サービス及び技術サポート等を行っておりません。また、本製品は外国為替及び外国貿易法の規定により規制貨物及び役務に該当します。従って、本製品を日本国外へ持ち出す際には、その時点での外国為替及び外国貿易法に基づき、日本国政府の輸出許可申請手続きをお取り下さい。許可手続き等にあたり特別な資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの当社営業拠点にご相談ください。

■ 廃棄方法について

当社では、各種使用済み情報通信機器の回収・リサイクルが可能な体制が整っております。

本製品を廃棄する際には、下記ホームページに示します NEC 情報通信機器回収拠点に対し、使用済み情報通信機器の回収依頼としてご連絡下さい。その都度、当該回収拠点との間で委託契約を締結していただいた上で、処理を実施させていただきます。

<http://jpn.nec.com/eco/ja/recycle/method/it/index.html>

■ 商標について

Microsoft、Windows、Windows Server、Internet Explorer、および SQL Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、本マニュアルの中に掲載されているソフトウェアまたは周辺機器の名称は、各メーカーの商標または登録商標です。

安全上のご注意

安全にお使いいただくために必ずお読みください。

使用上の注意事項

ここでは、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を示しています。

■ 情報処理装置等電波障害自主規制について

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

■ 医療機関等での使用

本装置は、医療機器、電子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。

これらの設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、当社製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、当社ではいかなる責任も負いかねます。

設備や機器、制御システムなどにおいては、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。

■ あらかじめご了承ください

本装置の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信（通話）の機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。




■ 装置本体およびケーブルを分解したり改造したりすることは、危険ですので絶対に行わないでください。

なお、本マニュアルを紛失または損傷したときは、お買い求めになった販売店でお求めください。

QX-PS800 ユーザーズマニュアル

表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

<本マニュアル中のマークの説明>

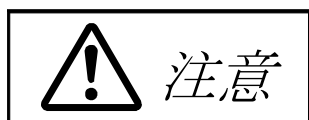
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、利用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、利用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の機能停止や低下が生ずる内容を示しています。

	誤った取り扱いをすると、発火の可能性が想定されることを示しています。
	誤った取り扱いをすると、感電の可能性が想定されることを示しています。
	誤った取り扱いをすると、けがを負う可能性が想定されることを示しています。
	安全のため、製品を水場で使用するのを禁止することを示しています。
	安全のため、製品を分解するのを禁止することを示しています。
	安全のため、A C 電源ケーブルを必ず装置本体の電源ソケットから抜くように指示するものです。
	安全のため、アース端子付きの製品には、必ずアースケーブルを接続するように指示するものです。
	安全のため、20kg以上の製品を一人で持ち上げるのを禁止することを示しています。
	表面温度が高くなっており、誤った取り扱いをすると、やけどを負う可能性が想定されることを示しています。
	回転物のため、誤った取り扱いをするとけがを負う可能性が想定されることを示しています。

1 電源に関するご注意



- ぬれた手で電源プラグおよび専用給電ケーブルの抜き差しをしないでください。感電の原因となります。
- 本製品に添付している電源ケーブルおよび専用給電ケーブルは、本製品専用のケーブルです。他の製品に転用して使用することはできません。火災や感電の原因となり、大変危険ですので、他の製品で使用しないでください。（本製品への電源供給および QX スイッチへの給電は、本製品に添付している電源ケーブルおよび専用給電ケーブルを利用してください。）
- 電源ケーブルおよび専用給電ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください。また、重いものを乗せたり、加熱したりしないでください。電源ケーブルおよび専用給電ケーブルが破損し、火災・感電の原因となります。万一、電源ケーブルもしくは専用給電ケーブルが傷んだ場合、お買い求めになった販売店または工事・保守者に修理を依頼してください。
- 電源プラグをタコ足配線でコンセントにつながないでください。火災・感電の原因となります。
- 近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてご使用を控えてください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグおよび専用給電ケーブルのコネクタは、ホコリが付着していないことを確認してからコンセントおよび専用給電ケーブルのコネクタに差し込んでください。また、半年から 1 年に 1 回は、電源プラグおよび専用給電ケーブルのコネクタを点検してください。ホコリにより火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。



- 電源プラグをコンセントから抜くとき、あるいは専用給電ケーブルを専用給電ケーブルのコネクタから抜くときは、必ず電源プラグ本体もしくは専用給電ケーブルのコネクタ部を持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となります。
- 電源プラグおよび専用給電ケーブルを熱器具に近づけないでください。電源ケーブルもしくは専用給電ケーブルの被覆が溶けることがあります。ケーブルの被覆が溶けると、火災・感電の原因となります。



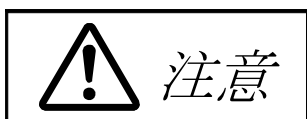
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグおよび専用給電ケーブルをコンセントおよび専用給電ケーブルのコネクタから抜いてください。

 警 告	 注 意
  <p>電源ケーブルを装置本体に固定するときは、いつでも装置本体の電源を切断できるように、電源ケーブルのプラグおよびコンセントにすぐ手が届く状態にしておいてください。</p>	  <p>電源プラグおよび専用給電ケーブルを抜くときは、必ず電源プラグ本体もしくは専用給電ケーブルのコネクタ部を持って抜いてください。ケーブルの損傷による火災、感電の原因となることがあります。</p>
  <p>本製品に添付の電源ケーブルは、AC100V（50／60Hz）の電源以外では、絶対に使用しないでください。</p> <p>異なる電圧で使用すると、火災、感電の原因となります。</p>	 <p>ぬれた手で電源ケーブルおよび専用給電ケーブルを電源ソケットに接続したり、抜き差ししたりしないでください。感電の原因となることがあります。</p>
  <p>AC電源プラグはACコンセントに確実に差し込んでください。</p> <p>電源プラグの刃に金属などが触れると火災や感電の原因となります。</p>	 <p>電源ケーブルを装置本体に接続してあるときは、ぬれた手で本製品に触らないでください。感電の原因となります。</p>
  <p>電源ケーブルの接続は、テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線にしないでください。</p> <p>電源コネクタが過熱し、火災、感電の原因となります。</p>	  <p>機器およびケーブルを接続する場合には、必ず電源ケーブルを装置本体の電源ソケットから外してください。電源ケーブルを電源ソケットに接続したまま、機器および電源ケーブルの接続をすると、感電の原因となることがあります。</p>
  <p>電源ケーブルおよび専用給電ケーブルを加工したり、傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。</p> <p>ケーブルの破損による火災、感電の原因となります。</p>	  <p>アースケーブルの接続／取り外しをする場合には必ず電源ケーブルを電源ソケットから外してください。電源ケーブルを電源ソケットに接続したまま、アースケーブルの接続／取り外しをすると、感電の原因になります。</p>
  <p>電源ケーブルおよび専用給電ケーブルの上にものを載せないでください。</p> <p>ケーブルの破損による火災、感電の原因となります。</p>	 <p>本製品をご使用にならないときは、安全のため必ず電源ケーブルおよび専用給電ケーブルを装置本体から外しておいてください。</p>
  <p>必ずアースケーブルを接続してください。</p> <p>アースケーブルは、安全のため、また落雷などの環境障害要因から本製品を保護するために、必ず接続して使用してください。</p>	 <p>AC電源コンセントは、アースの処理をされた3端子のコンセントを使用してください。</p>

2 保管および使用環境に関するご注意



- 水、油、薬品などの液体がかかるような場所、湯気のあたる場所や加湿器のそばなどの湿度が高い場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となります。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。
- 本製品の上や近くに液体が入った容器、またはクリップやネジなどの小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電・故障の原因となります。

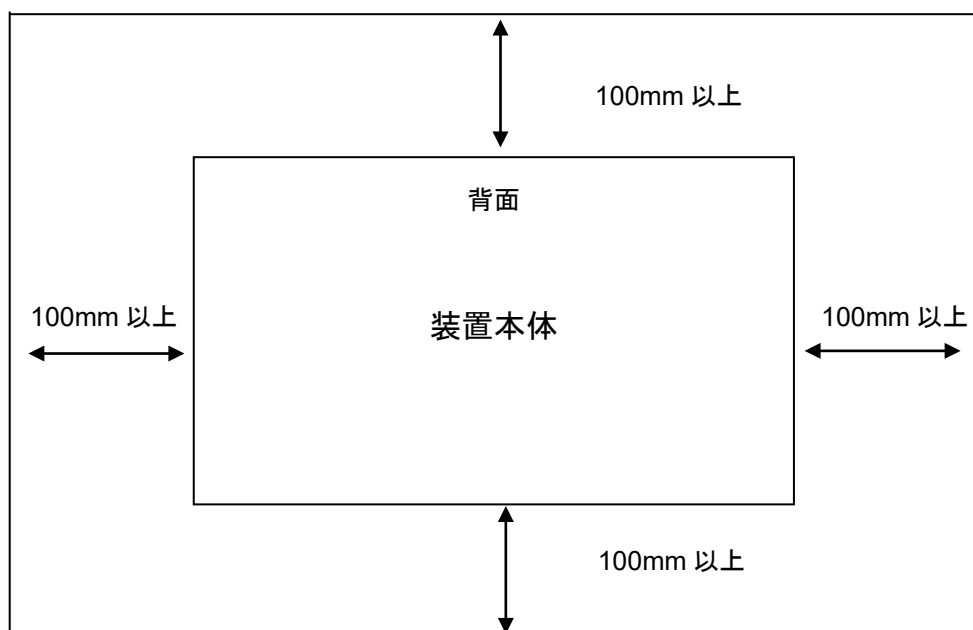


- 直射日光の当たるところや、暖房設備のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部温度が上がり、故障の原因となります。
- 温泉地など、硫化水素の発生するところや、海岸などの塩分の多いところでお使いになると本製品の寿命が短くなる恐れがあります。



- テレビ、ラジオ、無線機などの磁気、電波や磁波が発生しているところや違法無線を受けるところに置かないでください。またそのような物を近づけないでください。正常に動作しなくなることがあります。

< 上 面 図 >



< 正 面 図 >

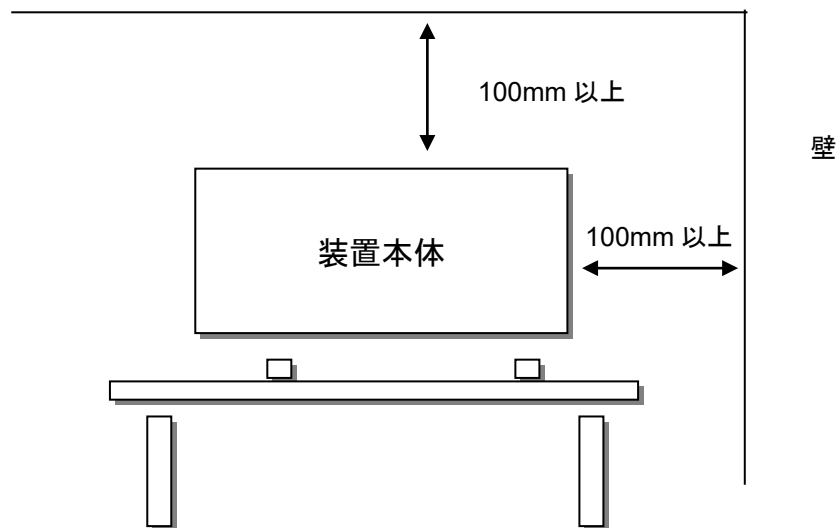


図1 単体設置時のスペース要求

 警 告		 注 意	
 	<p>本製品の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など液体の入った容器を置かないでください。</p>	 	<p>本製品や電源ケーブルを火気やストーブなどの熱器具に近づけないでください。</p> <p>キャビネットや電源ケーブルの被覆が溶けて、火災、感電、故障の原因となることがあります。</p>
	<p>液体が本製品にこぼれたり、本製品の中に入ったりした場合、火災、感電、故障の原因となります。</p>		
  	<p>本製品をふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。</p> <p>火災、感電の原因となります。</p>	 	<p>本製品を油飛びや湯気があたるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。</p> <p>火災、感電、故障の原因となることがあります。</p>
 	<p>ぎっくり腰や落下事故防止のため取り外しの際は2人で行ってください。</p>		<p>本製品を直射日光の当たるところに置かないでください。また、温度の高いところでの使用をしないでください。</p> <p>内部の温度が上がり、火災の原因になることがあります。</p>
			<p>本製品の通風口をふさがないでください。</p> <p>通風孔をふさぐと内部の温度が上がり、火災の原因になることがあります。</p>
			<p>本製品を不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。落下などにより、けがの原因となることがあります。</p>
			<p>本製品を振動、衝撃の多い場所に置かないでください。落下などにより、けがの原因となることがあります。</p>
			<p>本装置は、ゴム足が下になるように置いてください。</p> <p>倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。</p>
		<p>本製品をラジオやテレビなどのすぐそばで使用する とラジオやテレビに雑音が入ることがあります。また強い磁界を発生する機器などが近くにあると、逆に本製品に雑音が入ってくることがあります。このような場合は離して使用してください。</p>	























3 装置本体の取り扱いに関するご注意



- 万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源を切って、お買い求めになった販売店または工事・保守者に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
- 万一、本製品を倒したり、破損したりした場合は、お買い求めになった販売店または工事・保守者にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、本製品内部に水などの液体が入った場合は、お買い求めになった販売店または工事・保守者にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ぬれた手で本製品の操作をしないでください。感電の原因となります。
- 本製品を改造や分解し、内部に触れないでください。火災・感電の原因となります。（分解・改造された製品については、修理に応じられない場合があります。）
- お客様が用意された機器などを本製品に接続する場合は、あらかじめお買い求めになった販売店または工事・保守者に確認してください。製品によっては、本製品や接続した機器が正常に動作しないことがあります。



- 本製品に衝撃を与えるようなことはしないでください。故障の原因となります。
- 本製品は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。お手入れは柔らかい乾いた布で軽く拭き取ってください。

 警 告	 注 意
<div data-bbox="199 383 274 600">    </div> <p>万一、本製品を落としたり、破損したりした場合、電源ケーブルを電源ソケットから外して、お買い求めの販売店または担当のサービスセンターに連絡してください。</p> <p>そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。</p>	<div data-bbox="805 383 880 600">    </div> <p>落雷の恐れのあるときは、本製品の電源を切り、電源ケーブルを電源ソケットから外し、使用をお控えください。</p> <p>雷によっては、火災、感電の原因となることがあります。</p>
<div data-bbox="199 663 274 880">    </div> <p>万一、本製品の内部に水などの液体が入った場合は、電源ケーブルを電源ソケットから外して、お買い求めの販売店または担当のサービスセンターに連絡してください。</p> <p>そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。</p>	<div data-bbox="805 663 880 723">  </div> <p>雷が鳴っているときは、電源プラグに触れたり、機器の接続をしたりしないでください。</p> <p>感電の原因となることがあります。</p>
<div data-bbox="199 931 274 1149">    </div> <p>万一、異物が本製品の内部に入った場合は、電源ケーブルを電源ソケットから外して、お買い求めの販売店または担当のサービスセンターに連絡してください。</p> <p>そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。</p>	
<div data-bbox="199 1189 274 1406">    </div> <p>電源ケーブルが傷んだときは、すぐに電源ケーブルを電源ソケットから外して、お買い求めの販売店または担当のサービスセンターに修理を依頼してください。</p> <p>そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。</p>	
<div data-bbox="199 1447 274 1664">    </div> <p>万一、本製品から煙が出ている、異臭がするなどの異常があるときは、すぐに電源ケーブルを電源ソケットから外し、異常がおさまるのを確認して、お買い求めの販売店または担当のサービスセンターに修理を依頼してください。</p> <p>そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。</p>	
<div data-bbox="199 1805 274 1865">  </div> <p>FANユニット内のファンモータは高速に回転しています。運用中または運用直後のFANユニットに触れないでください。けがの原因となることがあります。</p>	




4 お手入れに関するご注意







- 本製品を静電気集塵型化学ぞうきんで絶対に拭かないでください。故障の原因となります。



- 本製品をベンジン、シンナー、アルコールなどで絶対に拭かないでください。変色や変形の原因となります。
汚れがひどいときには、薄めた中性洗剤を布に付け、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後柔らかい布でから拭きしてください。
- 本製品のお手入れをされるときは、安全のため必ず電源プラグを抜いてください。

 注意	
	本製品のお手入れをする際は、安全のため必ず電源ケーブルを電源ソケットから外してください。
	購入後、1年に1度は内部の掃除を販売店または担当のサービスセンターにご相談ください。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。内部にほこりがたまったら長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。 なお、内部掃除費用については、販売店または担当のサービスセンターにご相談ください。
本製品の汚れは、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませて軽くふいてください。 ベンジン、シンナーなど（揮発性のもの）や薬品を用いてふいたりしますと、変形や変色の原因になることがあります。 また、殺虫剤などをかけた場合にも変形や変色の原因になることがありますので注意してください。	

5 禁止事項

 警 告	 注 意
<div data-bbox="201 432 268 488"></div> <div data-bbox="201 510 268 566"></div> <p>当社サービスマン以外は、本製品内部の点検調整、清掃、修理は、危険ですから絶対にしないでください。</p> <p>本製品の内部には電圧の高い部分があり、火災、感電の原因となります。</p> <p>本製品内部の点検、調整、清掃、修理は、お買い求めの販売店または担当のサービスセンターに依頼してください。</p>	<div data-bbox="815 432 882 488"></div> <div data-bbox="815 510 882 566"></div> <p>本製品の通風口など開口部から、内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を入れてしないでください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となることがあります。</p>
<div data-bbox="201 734 268 790"></div> <div data-bbox="201 813 268 869"></div> <div data-bbox="201 880 268 936"></div> <p>当社サービスマン以外は、本製品の分解・改造は絶対にしないでください。</p> <p>火災、感電、故障の原因となります。</p>	<div data-bbox="815 757 882 813"></div> <p>本製品の上にものを載せたり、本製品に乗ったりしないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れたりして火災、けが、故障の原因となることがあります。</p>
<div data-bbox="201 992 268 1048"></div> <div data-bbox="201 1070 268 1126"></div> <p>本製品に水などの液体が入ったり、本製品をぬらしたりしないようご注意ください。</p> <p>火災、感電、故障の原因となります。</p>	
<div data-bbox="201 1205 268 1261"></div> <p>ヒューズの点検、交換は、危険ですから絶対にしないでください。</p> <p>感電の原因となります。</p> <p>ヒューズの点検、交換は、お買い求めの販売店または担当のサービスセンターに依頼してください。</p>	
<div data-bbox="201 1417 268 1473"></div> <div data-bbox="201 1496 268 1552"></div> <p>当社サービスマン以外は、構成品、コネクタモジュールの清掃は危険ですから絶対にしないでください。</p> <p>感電、けが、故障の原因となります。</p>	

目次

1 章 製品の概要	1-1
1.1 QX-PS800 の概略	1-1
1.2 QX-PS800	1-2
1.2.1 前面	1-2
1.2.2 背面	1-3
1.3 QX-PS800 製品仕様	1-4
2 章 設置前の準備	2-1
2.1 注意事項	2-1
2.2 環境要件	2-1
2.2.1 温度/湿度の要件	2-1
2.2.2 汚れに対する要件	2-2
2.2.3 静電気防止の要件	2-2
2.2.4 干渉防止の要件	2-3
2.2.5 接地要件	2-3
2.3 取り付け工具	2-3
3 章 設置	3-1
3.1 QX-PS800 の設置	3-1
3.1.1 19 インチ標準キャビネットへの QX-PS800 の設置	3-1
3.1.2 作業台への QX-PS800 の設置	3-2
3.2 アースケーブルの接続	3-2
3.3 電源ケーブルの接続	3-3
3.3.1 AC 電源ケーブルの接続	3-3
3.4 専用給電ケーブルの接続	3-5
3.5 取り付け完了時の確認	3-5
3.6 本装置の起動	3-5
3.6.1 本装置の電源投入前の確認	3-5
3.6.2 本装置の電源投入	3-5
4 章 メンテナンスおよびトラブルシューティング	4-1
4.1 電源系統の障害	4-1
4.2 給電系統の障害	4-1

1章 製品の概要

1.1 QX-PS800の概略

QX-PS800 は、QX スイッチの一部の装置に対して、QX スイッチの AC-DC 電源機能部のバックアップ機能を提供します。QX スイッチの AC-DC 電源モジュール部において障害が発生した場合でも、無瞬断で本装置からの給電により動作し続けることが可能です。



図1-1 QX-PS800 外観

QX-PS800 は、添付されるケーブルにより 2 つのモデルが存在しており、それぞれ給電可能な機種が異なります。

QX-PS800 で給電可能な QX スイッチ製品は、以下となります。

- QX-S5526P
- QX-S5550P
- QX-S5226P
- QX-S5250P

QX-PS800-T2 で給電可能な QX スイッチ製品は、以下となります。

- QX-S3828TP
- QX-S3852TP
- QX-S5524GT-4X2Q
- QX-S5548GT-4X2Q
- QX-S5628GT-4X2Q
- QX-S5648GT-4X2Q

📖 メモ:

- 本製品は、QX スイッチ内の AC-DC 電源モジュール部の障害発生時のバックアップ機能を供給するものであり、停電発生時のバックアップ電源としては機能しません。停電対策としては、無停電電源システム（UPS）を使用することを検討してください。
- 以降の章では特に指定がない限り、QX-PS800、QX-PS800-T2 は QX-PS800 と記載します。

1.2 QX-PS800

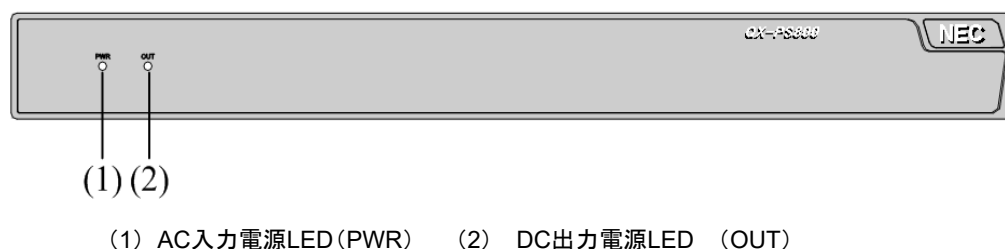
📖 メモ:

安全規格の更新によりラベルや装置背面の表示内容が異なる場合があります。
表示内容は製造年月で異なりますが、使用上の問題はありません。

1.2.1 前面

I. QX-PS800 前面

QX-PS800 の前面には、左端に装置の AC 入力電源の状態を表示する LED、DC 出力電源の状態を表示する LED があります。



(1) AC入力電源LED (PWR) (2) DC出力電源LED (OUT)

図1-2 QX-PS800 前面

📖 メモ:

QX スイッチへの給電状態を”OUT”LED で確認することができます。また QX スイッチで、本装置からの給電状態を、CLI により確認することも可能です。

II. LED

表1-1 LED の説明

LED	記号	状態	説明
AC入力電源LED	PWR	ON（緑点灯）	本装置は正常に動作しています。

LED	記号	状態	説明
		OFF（消灯）	本装置は停止しています（電源OFF）。
DC出力電源LED	OUT	ON（緑点灯）	<p>QX-PS800-T2とQX-PS800で動作が異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> QX-PS800-T2 専用給電ケーブルを接続しています。 QX-PS800 専用給電ケーブルを接続しています。かつ、本装置は接続中のQXスイッチに給電しています。
		OFF（消灯）	<p>QX-PS800-T2とQX-PS800で動作が異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> QX-PS800-T2 本装置は専用給電ケーブルを接続していません。 QX-PS800 <ul style="list-style-type: none"> 本装置は専用給電ケーブルを接続していません。 本装置は専用給電ケーブルを接続していますがQXスイッチに接続していません。 本装置は待機状態で動作しています。QXスイッチはAC電源で動作中です。

📖 メモ:

- QX-PS800 の場合、“OUT” LED は、QX スwitchに DC 供給を行っている場合のみ点灯します。QX スwitchからの出力が待機状態にある場合、“OUT” LED は点灯しません。
- QX-PS800-T2 から QX スwitchへの供給状況については QX スwitchの DC 電源 LED を参照してください。

1.2.2 背面

I. QX-PS800 の背面

QX-PS800 の背面には、AC 電源入力ソケット、QX スwitchへの専用給電ケーブルの接続コネクタがあります。

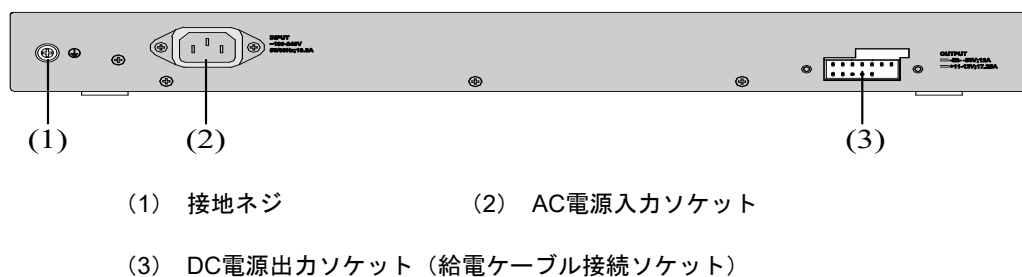


図1-3 QX-PS800 の背面

1.3 QX-PS800製品仕様

表1-2 QX-PS800 製品仕様

項目	仕様
寸法（W x H x D）	441mm x 44mm x 182mm
質量	3.8kg
入力電圧	100～240V（50/60 Hz）
AC電源ケーブル長	3m
消費電力	27W（無給電時）
最大供給電力	210W（+12 V 出力の場合） 650W（-54 V 出力の場合）
動作保証温度	0℃～45℃
動作保証湿度	10%～90%（非結露）

2章 設置前の準備

2.1 注意事項

不適切な使用方法による装置の損傷または人体の負傷を避けるため、以下の注意事項に従ってください。

- 本製品を清掃する前に、まず装置に接続されているすべてのケーブルをはずしてください。湿らせた布または液体で本製品を清掃しないでください。
- 水または湿った場所の近くに本製品を設置しないでください。水や湿気が装置内部に入るのを防いでください。
- 不安定な台や机の上に本製品を設置しないでください。落下した場合に本製品が大きな損傷を受け故障する可能性があります。
- 部屋の換気をよくして、装置の換気口をふさがないようにしてください。
- 装置は正しい電圧入力で正常に動作します。動作電圧が装置の規定値とあっているか確認してください。
- 作業者および本製品の安全のため、装置に入力電源を投入中、シャーシを開けないでください。

2.2 環境要件

QX-PS800 は屋内で使用してください。本製品を 19 インチの標準キャビネット（ラック）に設置する場合、また作業台に直接設置する場合、以下の要件を満たす必要があります。

- 本製品の放熱のため、装置の空気取り入れ口および換気口に対し十分なスペースをとってください。
- キャビネットおよび作業台の換気と放熱が行われるようにしてください。
- キャビネットと作業台が装置および付属品の重量に耐えるのに十分な安定性があることを確認してください。
- ラックおよび作業台がきちんと接地されていることを確認してください。

2.2.1 温度/湿度の要件

本製品の動作を確実にし、長く使用していただくため、ユーザは設置環境の温度と湿度を一定レベルに保つ必要があります。設置環境の湿度が長時間高すぎた場合、本製品の絶縁の悪化または漏電につながります。機構的性能の悪化、部材の変質、金属部分のさびや腐食などが起こる場合もあります。また、乾燥した環境では静電気が発生しやすく、装置の電気回路を損傷させます。温度が上昇するほど、装置への損傷が大きくなります。高い温度が長時間続くと、絶縁体の老朽化が早まります。装置の信頼性が著しく低下し、耐用年数に大きな影響を与えます。

2.2.2 汚れに対する要件

埃は本製品の安全な動作を妨げます。埃が本製品の上に落ちると、静電気を吸収し、金属製コネクタや接続点の接続不良を起こす場合があります。この現象は室内の相対湿度が低いときにより起こりやすくなります。本製品の耐用年数を縮めるだけでなく、通信障害をも引き起こします。設置環境の埃の含有量および粒子の直径に関する要件を表 2-1 に示します。

表2-1 設置環境内の埃の含有量に関する仕様

最大直径 (μm)	0.5	1	3	5
最大密度 (単位立方メートルあたりの粒子数)	1.4×10^7	7×10^5	2.4×10^5	1.3×10^5

埃の要件のほかに、設置環境内の塩、酸および硫化物の空気中の含有量に関しても厳しい要件が設定されています。こうした有毒なガス類は、部品の金属腐食や老朽化を早めます。設置環境室は、SO₂、H₂S、NO₂、NH₃ および Cl₂ などの有毒ガスから保護する必要があります。それぞれの限界値を表 2-2 に示します。

表2-2 設置環境中の有毒ガス含有量の限界値

ガス	平均値 (mg/m ³)	最高値 (mg/m ³)
SO ₂	0.2	1.5
H ₂ S	0	0.03
NO ₂	0.04	0.15
NH ₃	0.05	0.15
Cl ₂	0.01	0.3

2.2.3 静電気防止の要件

静電気について多くの注意が払われ、多くの措置がとられています。それでも静電気放電が一定の限界を超えると、電気回路を損傷します。場合によっては本製品全体に重大な損傷を与えます。本製品が設置されている環境では、静電誘導の発生源は、主として高圧電装ケーブルや落雷などの外部的要因と、室内環境、床の素材、機器の全体的な構成などの内部的な要因とに分けられます。静電気による損傷を防止するために、次のような点に注意が必要です。

- 設備および床を確実に接地してください。
- 室内に防塵装置を取り付けてください。
- 適切な温度と湿度を維持してください。
- 必ず静電気防止リストストラップと静電気防止ウェアを着用してください。

2.2.4 干渉防止の要件

使用中の本製品は、容量結合、誘導結合によるクロストークの影響、および共通インピーダンス、電磁干渉（EMI）といったシステム外部のノイズ源からの影響を受けます。そのため、以下の点を考慮してください。

- 電源系統が装置に及ぼす干渉を軽減するための有効な対策を行ってください。
- 本製品を無線発生器、レーダー発生器および高電流で動作している高周波装置から離してください。
- 必要に応じて電磁シールドケーブルなどを使って電磁気を遮蔽してください。

2.2.5 接地要件

正しい接地を行うことが、本製品の安定した正常動作と信頼性の基礎となり、さらに落雷保護と干渉防止、静電障害防止に重要な役割を果たします。ユーザは正しい接地を行ってください。その際、次の点に注意してください。

- 機器室にある接地端子の接触抵抗は 0.1 オーム以下であること（12V/25A のテストをクリアすること）。
- 接地抵抗は、A 種接地（10 オーム）または D 種接地（100 オーム）を満たすこと。接地径は、A 種接地（直径 2.6mm 以上）または D 種接地（直径 1.6mm 以上）を満たすこと。

2.3 取り付け工具

- プラスドライバ
- 静電気防止リストストラップ



注意:

取り付け工具は QX-PS800 に添付されていません。必要な取り付け工具を前もって確認し準備してください。

3章 設置

3.1 QX-PS800の設置

3.1.1 19 インチ標準キャビネットへの QX-PS800 の設置

本製品は 19 インチ標準キャビネットに設置することができます。設置手順は以下のとおりです。

📌 メモ:

装置に付属している取り付け金具（フランジ）だけを使用してキャビネットへ取り付けただけの場合、振動およびキャビネット構造の特性上、装置の設置状態が不安定になる可能性があります。本装置をキャビネットに設置する場合は、キャビネット付属のトレイまたはガイドレールを併用するようお願いいたします。

ステップ 1: 静電気防止リストストラップと静電気防止ウェアを着用してください。

ステップ 2: 図 3-1 に示すように、取り付け金具用ネジ用いて取り付け金具を QX-PS800 の側面に取り付けます。反対側の側面も同様に取り付けます。

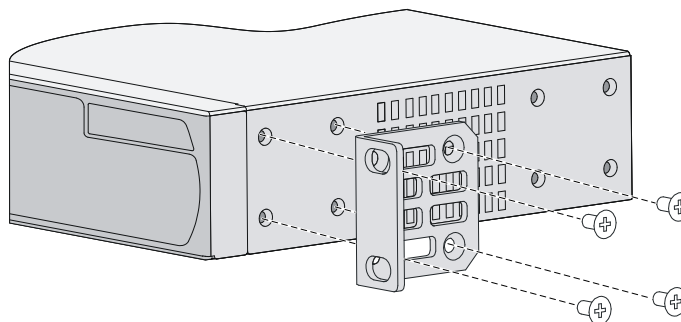


図3-1 QX-PS800 の取り付け金具の接続

ステップ 3: 本装置をキャビネット内の棚の上においてください。状況に応じて本装置をキャビネットのガイドに沿って適当な位置までスライドさせてください。本装置とガイドの間に適当なスペースがあるようにしてください。

ステップ 4: キャビネットの両側で取り付け金具を固定ガイドにネジを使って固定してください。各スロット上の棚および取り付け金具により本装置がキャビネット内でしっかり固定されていることを確認してください。

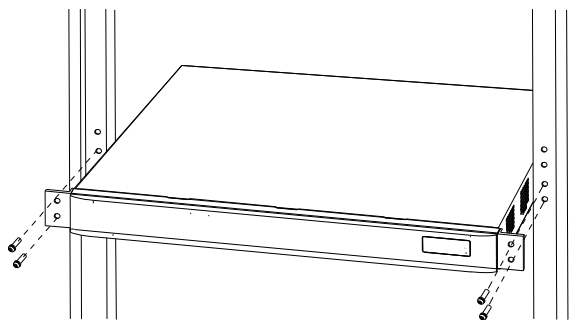


図3-2 QX-PS800 の設置（19 インチキャビネット搭載時）

3.1.2 作業台への QX-PS800 の設置

19 インチ標準キャビネットが入手できない場合、清潔な作業台の上に本製品を設置することもできます。この作業の際には以下の点に注意してください。

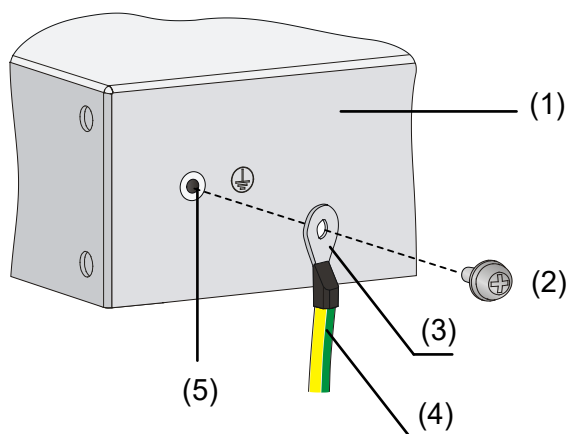
- 作業台に安定性があり、しっかり接地されていることを確認してください。
- 放熱のため本製品の周囲に 10 センチほどのスペースをとってください。
- 本製品の上に重いものを置かないでください。
- 本製品添付のゴム足を、装置底面に付けてください。

3.2 アースケーブルの接続

ステップ 1: 静電気防止リストストラップと静電気防止ウェアを着用してください。

ステップ 2: QX-PS800 の背面の接地ホールから接地ネジを取り外します。

ステップ 3: 接地ホールに、アースケーブルに取り付けられた圧着端子を取り外した接地ネジで取り付けます。



(1) 装置背面

(2) 接地ネジ

- (3) 圧着端子
- (4) アースケーブル（緑/黄色）
- (5) 接地ホール

図3-3 アースケーブルの接続

3.3 電源ケーブルの接続

3.3.1 AC 電源ケーブルの接続



注意:

本装置と給電する QX スイッチ間を付属の専用給電ケーブルで接続したのち、本装置への電源供給を行ってください。

I. AC 電源

定格電圧：100～240V AC.; 50/60Hz

最大許容差：90～264V AC.; 50/60Hz

下図を参照してください。

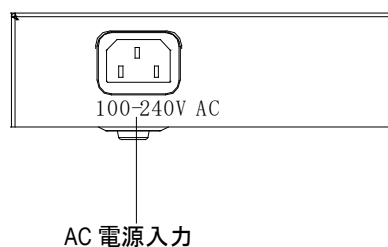


図3-4 電源ソケット（AC）

II. 推奨 AC 電源ソケット

アースコネクタ付きの単層 3 線電源ソケット、またはコンピュータ用多機能電源ソケットを推奨します。建物内の電源のアースは確実に接地されていなければなりません。ユーザは建物の電源が接地されていることを確認する必要があります。

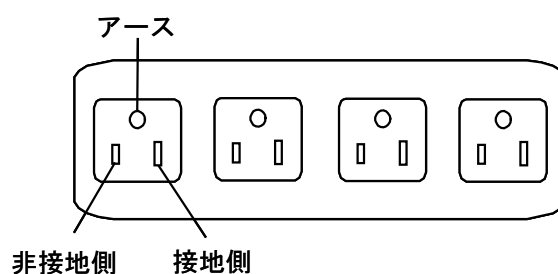


図3-5 推奨 AC 電源ソケット

III. AC 電源ケーブルの接続

ステップ 1: 本装置と同梱の AC 電源ケーブルの一方の端を装置のリア側電源ソケットに接続し、もう一方の端を AC 電源ソケットに接続してください。

ステップ 2: 本装置のフロントパネルの入力 AC 電源状態表示 LED（PWR）が点灯しているかどうか確認してください。点灯している場合、電源ケーブルが接続されていることを示します。



注意:

- 本製品に添付している AC 電源ケーブルは、本装置専用の 100V 用 AC 電源ケーブルです。
- 他の装置に転用して使用することはできません。
- 火災や感電の原因となり、大変危険ですので、他の装置で使用しないでください。
- 本装置への電源供給は、本製品に添付している AC 電源ケーブルを利用してください。
- 電源ケーブルの AC プラグ形状は NEMA 5-15P です。
- 200V などの高電圧の環境で装置を使用する場合は、お客様で別途 AC 電源ケーブルを用意してください。

項目	コネクタ（装置側）	ケーブル	プラグ（コンセント側）
定格	250V 10A以上 電気用品安全法取得品	250V 10A以上 電気用品安全法取得品	250V 10A以上 電気用品安全法取得品
形状	 ケーブル：IEC-60320-C13 装置：IEC-60320-C14	3芯より合わせ	コンセントの形状に合ったものを準備してください。

3.4 専用給電ケーブルの接続

QX スイッチへの給電は、本製品添付の専用給電ケーブルを介して行います。専用給電ケーブルは、誤接続がないよう、QX-PS800 側と給電する QX スイッチ側で異なるコネクタが実装されています。専用給電ケーブルを接続もしくははずす際には、必ずケーブルコネクタ部を持ち実施してください。

3.5 取り付け完了時の確認

使用する電源が、本装置の規格値とあっていることを確認してください。

電源ケーブルおよび専用給電ケーブルが本装置および給電を行う QX スイッチと正しく接続されていることを確認してください。

3.6 本装置の起動

3.6.1 本装置の電源投入前の確認

本装置の電源投入前に、以下のことを確認してください。

- 電源ケーブルおよび専用給電ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
- 電圧が本装置の要求する電圧と合っていることを確認してください。

3.6.2 本装置の電源投入

本装置の電源投入後、本装置正面の電源状態表示 LED（PWR）が緑点灯することを確認してください。

4章 メンテナンスおよびトラブルシューティング

4.1 電源系統の障害

フロントパネル上の電源状態表示 LED (PWR) を調べることにより、本装置の電源系統が障害を起こしたかどうかを確認することができます。電源状態表示 LED (PWR) はシステムが正常な間は常に点灯しています。LED が消灯した場合、以下のことを確認してください。

- 本装置の電源ケーブルが正しく接続されているかどうか確認してください。
- 本装置の入力電源電圧が本装置の要件に合っているかどうか確認してください。

4.2 給電系統の障害

本装置の電源投入後システムが正常な場合、専用給電ケーブルを介して本装置から給電を行っている QX スイッチにおいて、電源状態を CLI により確認することができます。

本装置と QX スイッチが、本製品添付の専用給電ケーブルにより正しく接続されているかどうか確認してください。

QX-PS800 ユーザーズマニュアル

発行元 日本電気株式会社

- ・本説明書に記載された内容は、改良のため予告なく変更することがあります。
- ・本製品は外国為替および外国貿易管理法により戦略物資等(または役務)に該当しますので、日本国外に輸出する場合には、国法に基づき日本国政府の輸出許可が必要です。
- ・本説明書に記載されている社名、製品名はそれぞれの会社の商標、または登録商標です。

日本電気の許可なく複製・改変等を行うことはできません。